

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道41号 <small>たかやまこくふ</small> 高山国府バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局					
起終点	自： <small>たかやま ふゆとう</small> 岐阜県高山市冬頭町	至： <small>たかやま こくふ かねおけ</small> 岐阜県高山市国府町金桶	延長	6.3 km						
事業概要	<p>一般国道41号は、名古屋市を起点とし、愛知県犬山市、岐阜県高山市などの主要都市を経て富山市に至る延長約250kmの主要幹線道路です。</p> <p>本事業の高山国府バイパスは、岐阜県高山市冬頭町から、同市国府町金桶に至る延長約6.3kmのバイパスであり、交通混雑の緩和、交通安全の確保、及び高速アクセスの向上を目的として事業を推進しています。</p>									
H5年度事業化	H3年度都市計画決定	H9年度用地着手	H11年度工事着手							
全体事業費	465億円	事業進捗率	70%	供用済延長	1.3km					
計画交通量	22,000台/日									
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C<small>（事業全体）</small> 1.4</td> <td style="width: 50%;">総費用<small>（残事業）/（事業全体）</small> 150/525億円</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">（残事業） 2.7</td> <td style="width: 50%;">（事業費：123/498億円） （維持管理費：27/27億円）</td> </tr> </table>	B/C <small>（事業全体）</small> 1.4	総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small> 150/525億円	（残事業） 2.7	（事業費：123/498億円） （維持管理費：27/27億円）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益<small>（残事業）/（事業全体）</small> 400/723億円</td> <td style="width: 50%;">基準年 平成22年</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">（走行時間短縮便益：347/630億円） （走行費用減少便益：27/56億円） （交通事故減少便益：26/37億円）</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>	総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small> 400/723億円	基準年 平成22年	（走行時間短縮便益：347/630億円） （走行費用減少便益：27/56億円） （交通事故減少便益：26/37億円）	
B/C <small>（事業全体）</small> 1.4	総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small> 150/525億円									
（残事業） 2.7	（事業費：123/498億円） （維持管理費：27/27億円）									
総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small> 400/723億円	基準年 平成22年									
（走行時間短縮便益：347/630億円） （走行費用減少便益：27/56億円） （交通事故減少便益：26/37億円）										
感度分析の結果	<p>残事業費にて感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=2.3（交通量+10%） B/C=2.9（交通量-10%）</p> <p>事業費変動：B/C=2.5（事業費+10%） B/C=2.9（事業費-10%）</p> <p>事業期間変動：B/C=2.6（事業期間+20%） B/C=2.7（事業期間-20%）</p>									
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・利便性の向上が期待出来るバス路線（濃飛バス（富山線、岐阜線、名古屋線 等々））が存在する。 ・特急停車駅（JR高山本線（高山駅））へのアクセス向上が見込まれる。 ・富山空港へのアクセス向上が見込まれる。 <p>②物流効率化の支援国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク形成により各方面へ農産物流通の向上が見込まれる。 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏である高山市へのアクセス向上及び北陸・関西圏と関東圏とのアクセス向上が見込まれる。 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふ清流国体への支援が見込まれる。 ・高山市街地の古い町並み、高山祭り、温泉施設等の主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる。 ・高山市は豪雪地帯に指定されている。 <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設（高山赤十字病院）へのアクセス向上が見込まれる。 ・当該バイパス整備を前提とした救急病院（久美愛病院）の移設により冬期30分以内救急搬送圏の拡大が見込まれる。 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路に指定されている。 ・並行する現道41号の代替路線となる。 <p>⑦生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間要請限度未達成区間の解消が見込まれる。 <p>⑧他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道高山清見道路 									
関係する地方公共団体等の意見	<p>岐阜県の意見</p> <p>対応方針（原案）案のとおり、事業の継続をお願いします。</p> <p>なお、事業の実施にあたっては、引き続き本県と十分な調整をしていただくとともに、コスト縮減の徹底をお願いします。</p> <p>また、高山市上切町から高山市国府町金桶までの区間について、早期完成をお願いします。</p>									
事業評価監視委員会の意見	<p>「事業継続」することは「妥当」である</p>									
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>・高規格幹線道路である東海北陸道、中部縦貫道・高山清見道路の供用など高速ネットワークの整備</p> <p>・救急搬送・医療環境の変化</p>									
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>・高山国府バイパスL=6.3kmのうち1.3kmを暫定2車線で供用済</p> <p>・2工区完成供用に向けて工事を推進中</p>									

・事業進捗率は70%、用地取得率は100%（平成22年度末見込み）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・平成25年度の全線暫定供用を目指す。

・早期に全線完成供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進します。

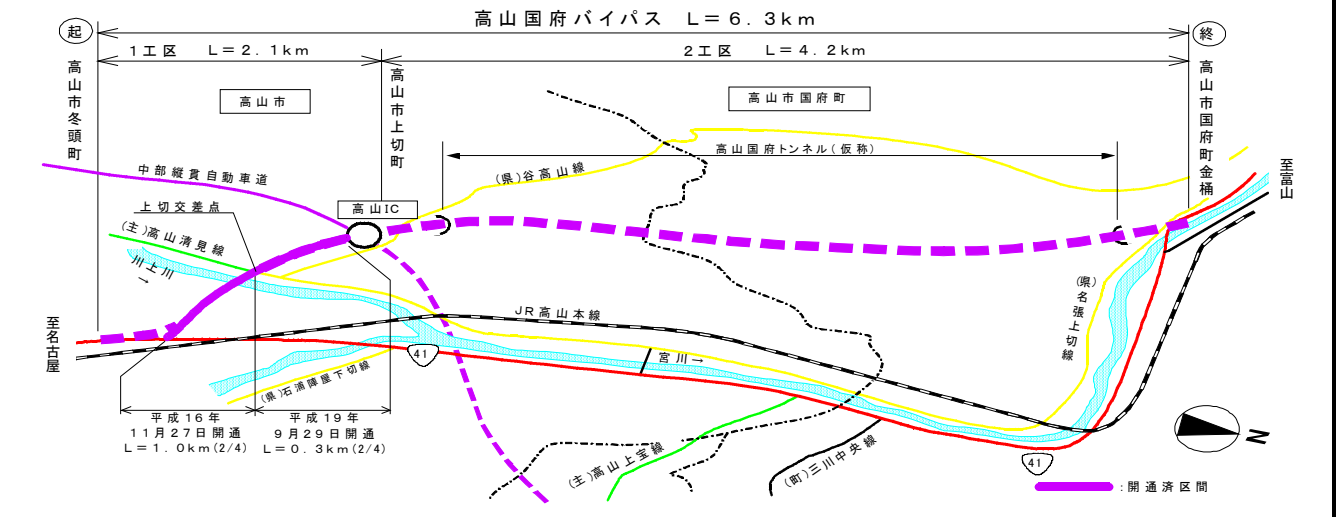
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。